

## 目的

マダイが恐れや警戒を示したときに発現する横臥行動を指標に、海上馴致試験を実施し、**簡易で効果的な健苗性向上の方法を検討する。**

## 方法

### 海上馴致・横臥行動試験

1. マダイの放流用種苗(平均全長88.1mm)を海面生簀(3.6m×3.6m×2.5m)5面に約2,000尾ずつ收容した。
2. 試験区は馴致0日間を対照区とし、1, 3, 5, 7日間無給餌で飼育する試験区を設定した。
3. 各生簀から無作為に20~30尾を10L容量のポリバケツに收容し、上部からビデオで撮影して横臥行動を判定した。



### 海上馴致後の肥満度

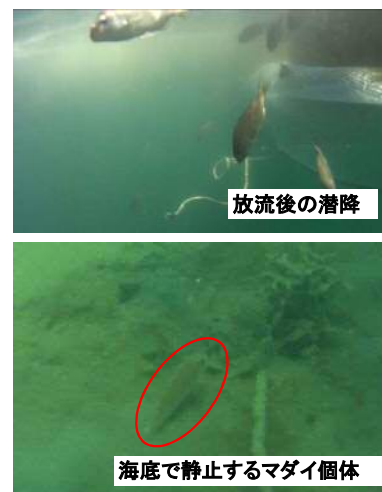
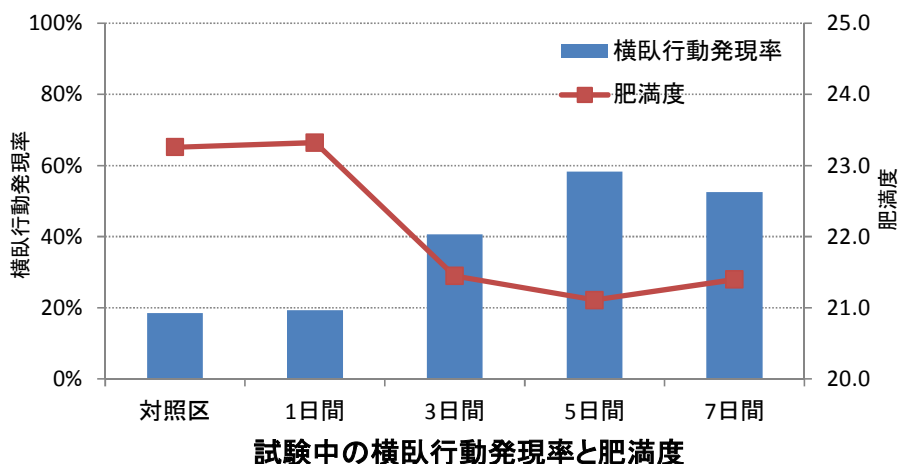
試験区ごとに30尾の尾叉長、体重を測定し、肥満度を算出した。

### 放流後の動向

1. 横臥行動試験後、各試験区の個体を生簀より放流した。
2. 放流直後の動向については、調査員が潜水し、ビデオで撮影した。



## 結果および考察



1. 横臥行動発現率は、**馴致日数が長くなるにつれ、向上した。**
2. 馴致3日間の種苗が放流後、**海底で静止している様子が確認された。**
3. 馴致日数が長くなると**肥満度が低下し、種苗の活力低下が進行する。**

➡ 無給餌による海上馴致は、**3日間程度で健苗性の向上が期待される。**